

電話対応の研修
システムを視察

斉藤局長

北陸総合通信局の斉藤一雅局長は24日、福井市内のコールセンターを訪れ、高齢者や障

害者に対する電話対応の研修システムを視察した。

システムは、IT企業のパステルラボ（金沢市）が情報通信研究機構の助成を受けて開発。パソコンを使って、高齢者への適切な受け答えなどを学ぶことができる。斉藤局長は「高齢化社会において将来的に欠かせないシステムになりそうだ」と述べた。システムは総務省の地デジコールセンターでも採用された。

北國新聞

平成24年4月25日